

2011年度(2012年3月期) 第4四半期 決算説明会

2012年 4月27日

セイコーエプソン株式会社

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新商品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

■ 本説明資料における表示方法

数値： 表示単位未満を切り捨て

比率： 千円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

開示セグメントの変更について

【2011年度】

- ものづくり基盤の再構築・強化を迅速に実行することを狙いとして、「電子デバイス事業セグメント」と「精密機器事業セグメント」を統合し、「デバイス精密機器事業セグメント」とする
- 「中・小型液晶ディスプレイ」のオペレーション終結を受け、2011年度以降発生する損益については「その他」に集約

【ビジュアルプロダクツ事業部(10月1日組織変更)】

- 映像分野における事業領域の拡大を確実なものとするため、「映像機器事業(プロジェクター)」<情報関連機器セグメント>と「TFT(HTPS)事業」<デバイス精密機器セグメント>を統合し、「ビジュアルプロダクツ事業部」<情報関連機器セグメント>とする

* 本資料では、上記内容について、
2010年度実績値 ならびに2011年度実績値、予想数値の補正を行った上で説明

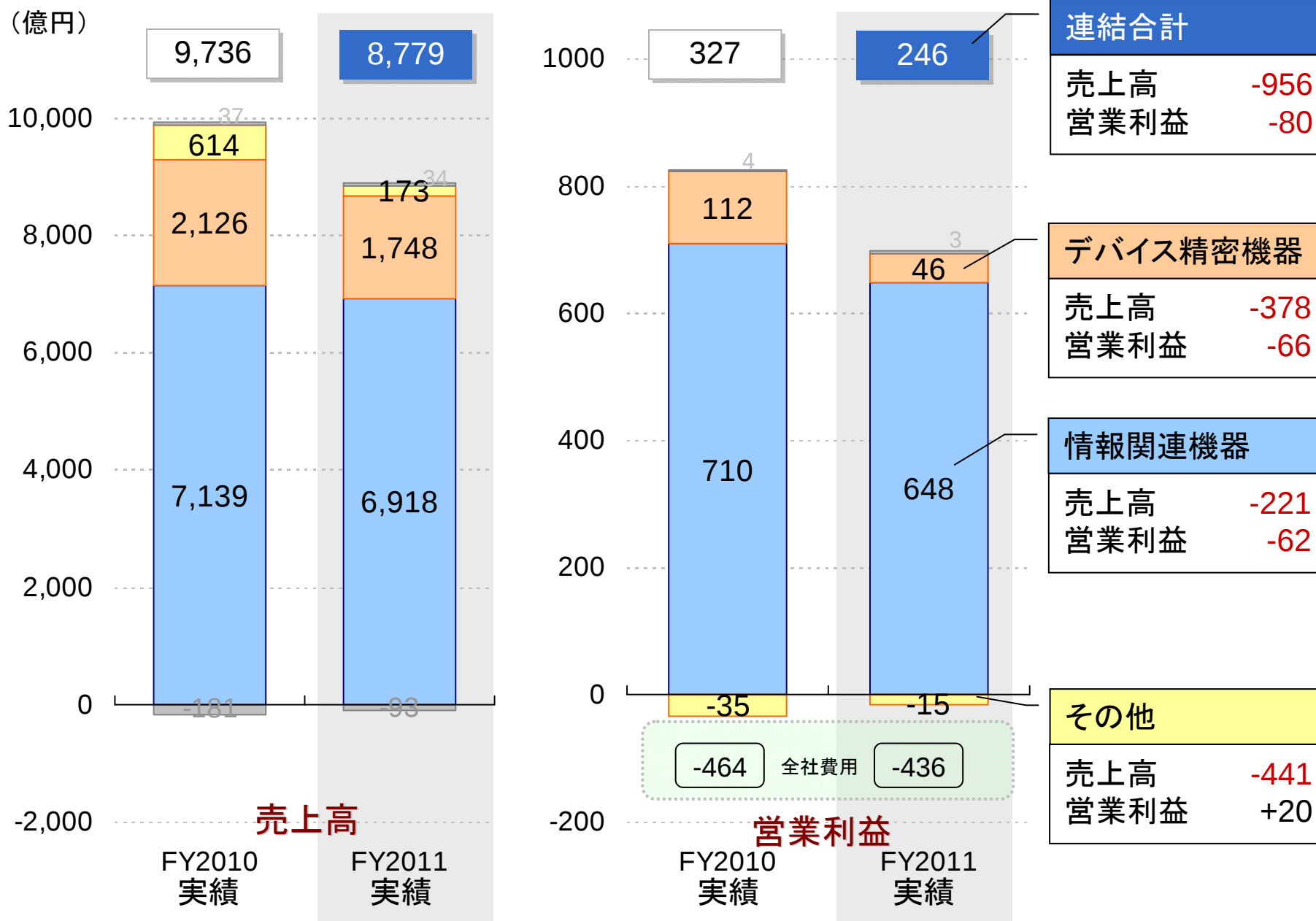
2011年度通期決算
2012年度業績予想

2011年度
第4四半期決算

決算ハイライト（通期）

(億円)		2010年度		2011年度				増減額 / 増減率	
		実績	%	1/31予想	%	実績	%	前期 実績比	1/31 予想比
売上高		9,736	-	8,800	-	8,779	-	-956 -9.8%	-20 -0.2%
営業利益		327	3.4%	270	3.1%	246	2.8%	-80 -24.7%	-23 -8.8%
経常利益		311	3.2%	270	3.1%	270	3.1%	-41 -13.3%	+0 +0.1%
税引前利益		153	1.6%	150	1.7%	156	1.8%	+2 +1.6%	+6 +4.1%
当期純利益		102	1.1%	50	0.6%	50	0.6%	-52 -50.9%	+0 +0.6%
EPS		51.25 円		26.06 円		26.22 円			
換 算 レ ー ト	USD	85.72 円		78.00 円		79.08 円			
	EUR	113.12 円		108.00 円		108.98 円			

2011年度業績▶事業セグメント別



■ インクジェットプリンター:

- ✓ 東日本大震災、タイ洪水により生産・供給面に遅れ、エア輸送などの対応費用が発生
- ✓ 上期の本体数量減が、消耗品需要回復に影響
- ✓ 下期、ホーム、オフィス、エマージング市場向けに競争力の高い製品投入
- ✓ 本体は年間目標数量には届かなかったものの、
下期は欧米市場が前年割れの中、当社は各市場において確実に数量増

■ ビジネスシステム:

- ✓ SIDMの中国における徴税需要が鈍化するものの、
入札案件獲得成果もあり堅調に推移
- ✓ POS関連製品は米州・亜州の小売店舗向けを中心に堅調も、
先進国を中心に大型案件の動きが低調

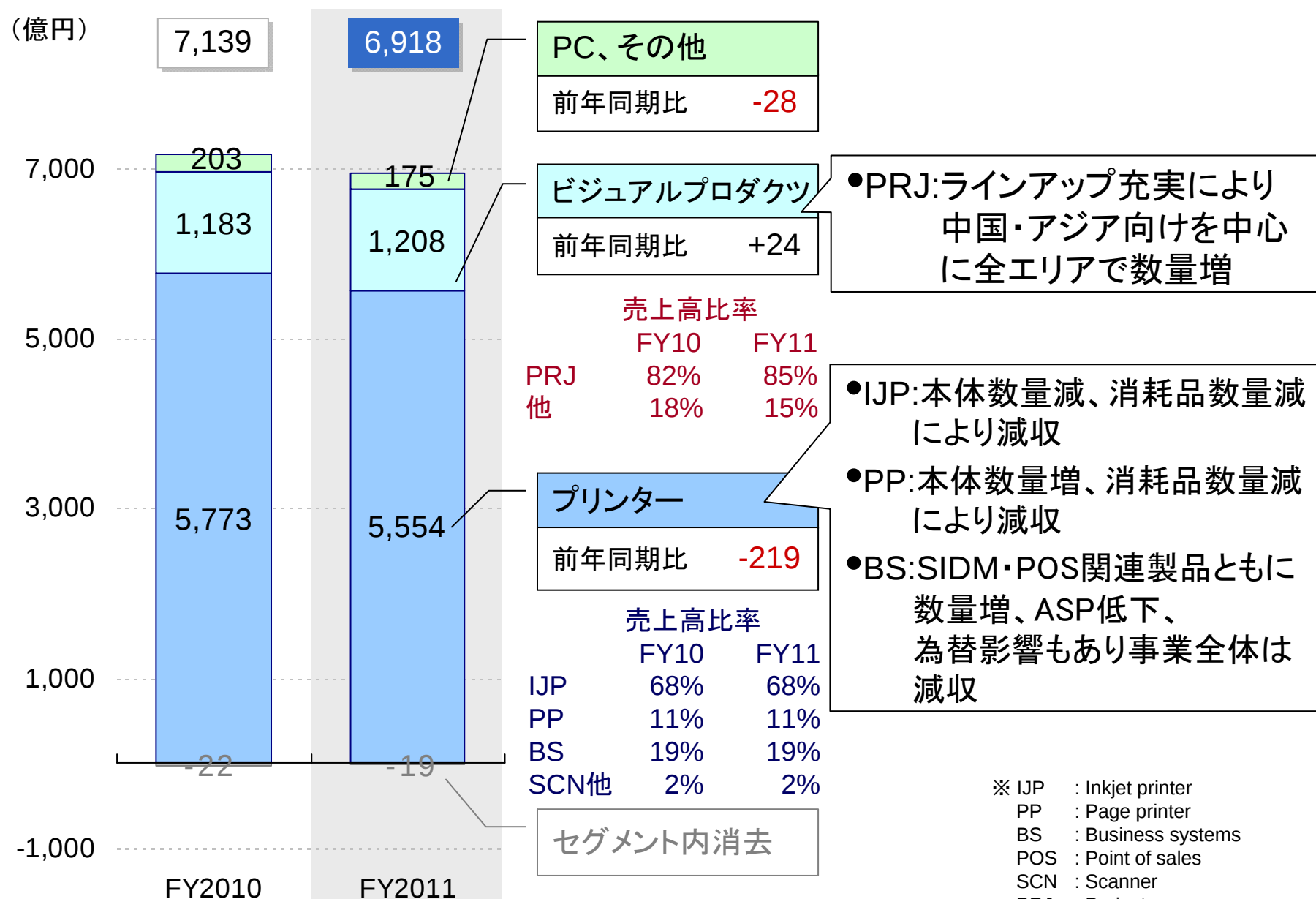
■ プロジェクター:

- ✓ 年間目標数量には届かなかったものの、ホーム、ビジネス、教育市場向け
ラインアップ充実により、中国・アジアを中心に全エリアで前年比数量増

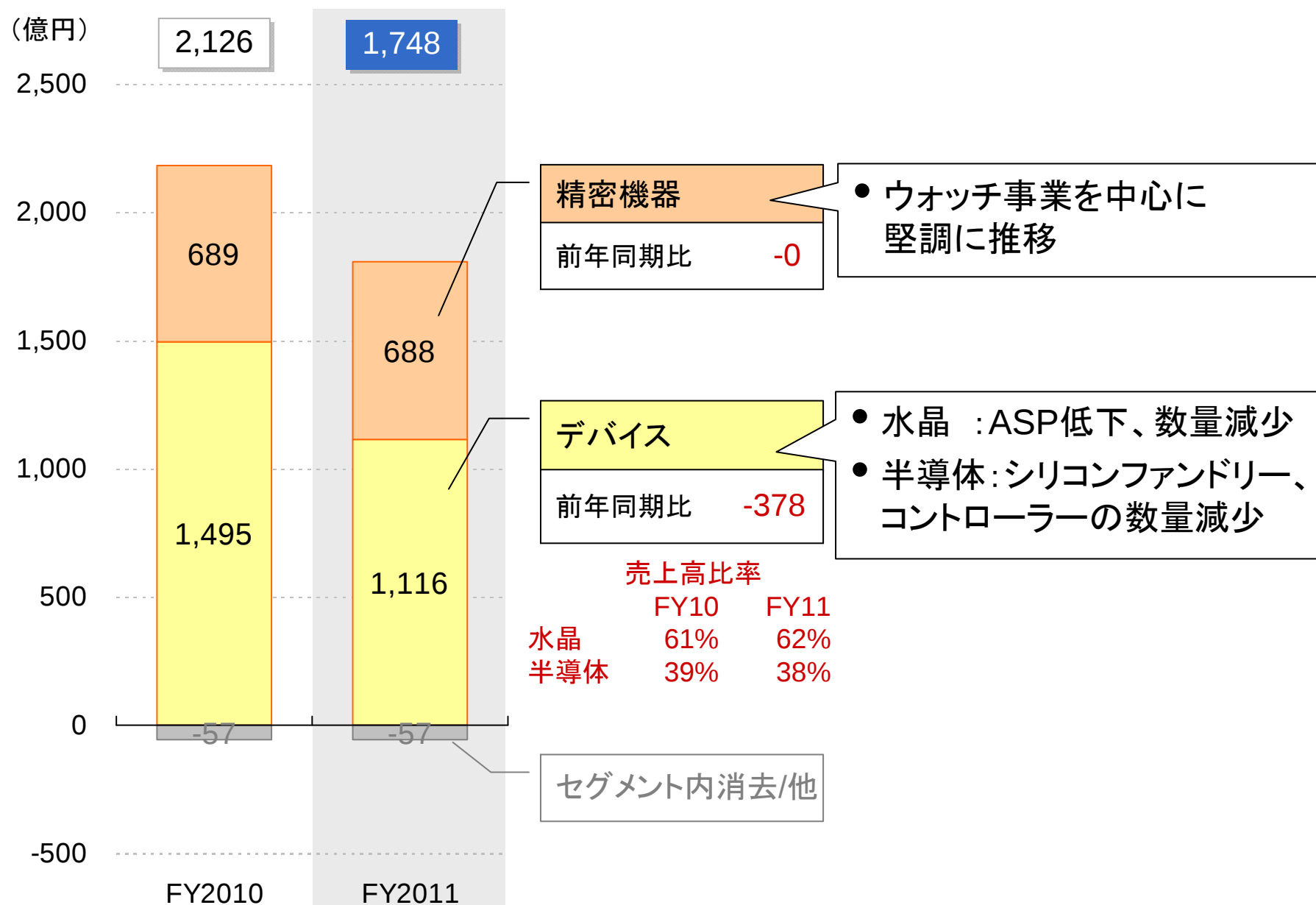
■ マイクロデバイス:

- ✓ 景気低迷影響を受けるものの、体制整備は着実に進捗
- ✓ 情報関連機器成長分野への要員転換により、事業規模適正化の推進

売上高比較(通期) ▶情報関連機器セグメント



売上高比較(通期) ▶ デバイス精密機器セグメント

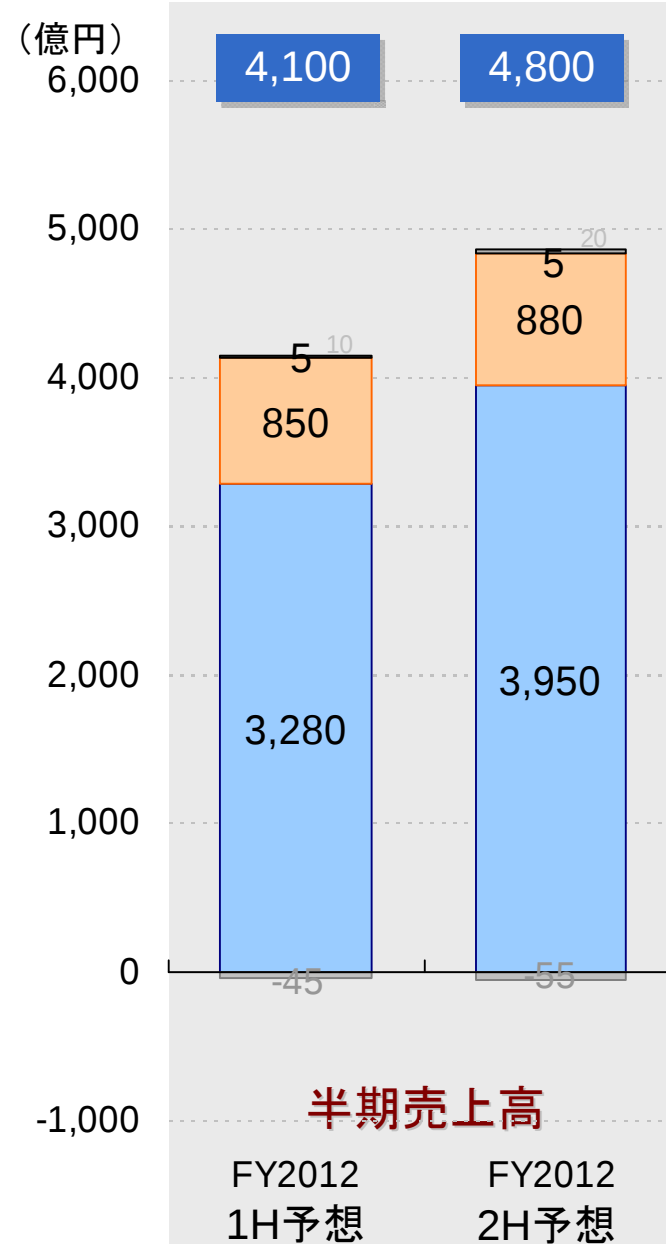
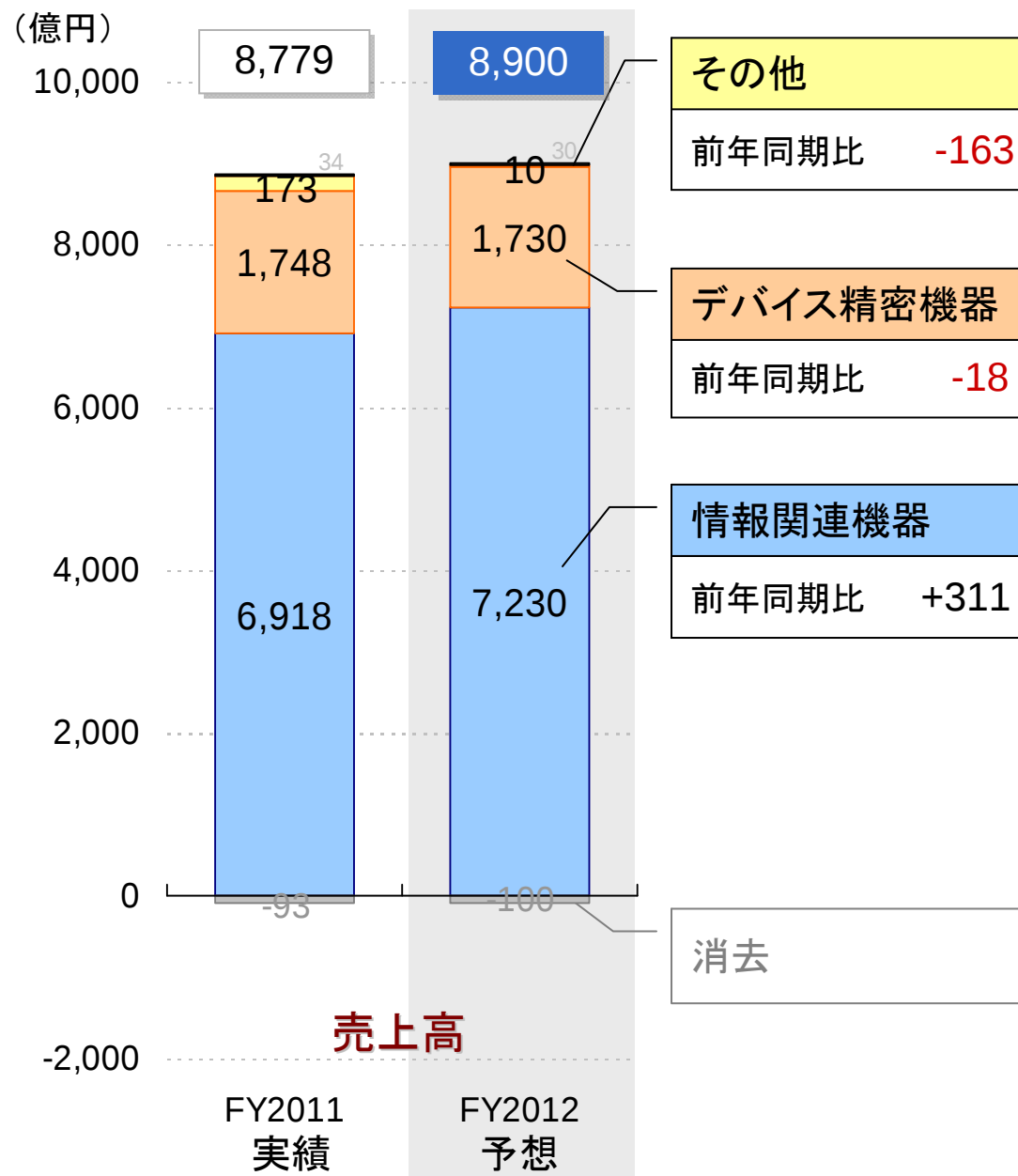


2012年度 業績予想



(億円)		2011年度		2012年度		増減	
		通期実績	%	通期予想	%	増減額	増減率
売上高		8,779	-	8,900	-	+120	+1.4%
営業利益		246	2.8%	350	3.9%	+103	+42.1%
経常利益		270	3.1%	330	3.7%	+59	+22.1%
税引前利益		156	1.8%	230	2.6%	+73	+47.2%
当期純利益		50	0.6%	140	1.6%	+89	+178.2%
EPS		26.22円		78.26円			
換 算 レ ー ト	USD	79.08円		75.00円			
	EUR	108.98円		100.00円			

2012年度業績予想(売上高)▶事業セグメント別



■ インクジェットプリンター:

- ✓ 中期戦略にもとづき、ホーム、オフィス、エマージング市場向けにラインアップを拡充し、前年比10%以上の数量増を目指す
- ✓ 小型化モデルのホーム、オフィス領域への全面展開
- ✓ 商業領域においては、プラットフォーム化によるコストダウンを実現したLFPで、サイネージやCAD、エマージングなどへ領域を拡大
- ✓ 本体販売数量増加とともに、下期からの消耗品売上高の拡大を見込む

■ ビジネスシステム:

- ✓ SIDMの中国における安定的な徴税需要に加え、銀行や農村部などの新規需要や、入札案件への対応
- ✓ POS関連製品は大型・中小小売店舗向け需要への対応、インテリジェント化などの提案による新規需要の開拓、販売力の強化による事業成長

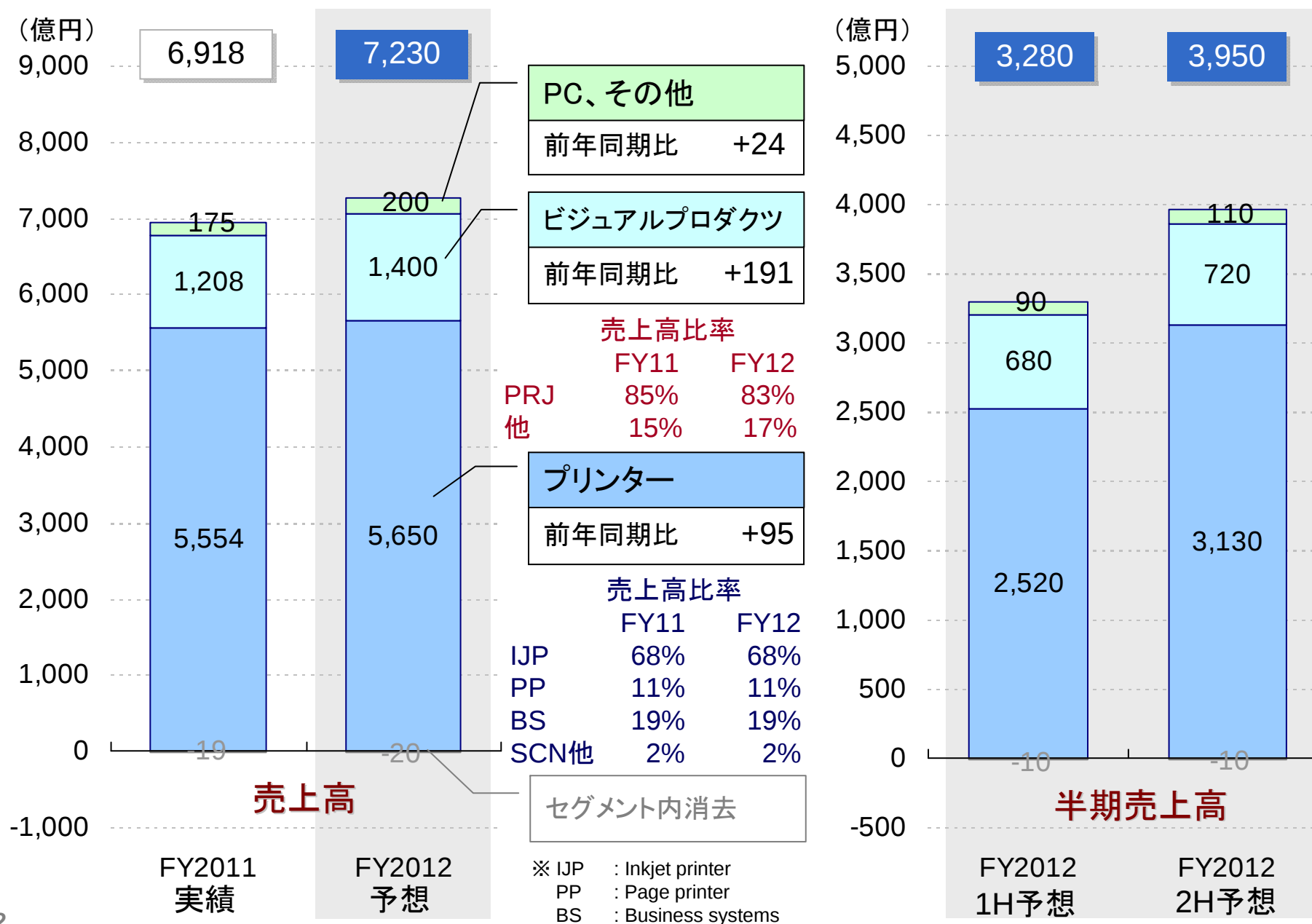
■ プロジェクター:

- ✓ 先進国のビジネスや高輝度領域などの拡大
- ✓ エマージングの教育需要取り込みと販売体制整備

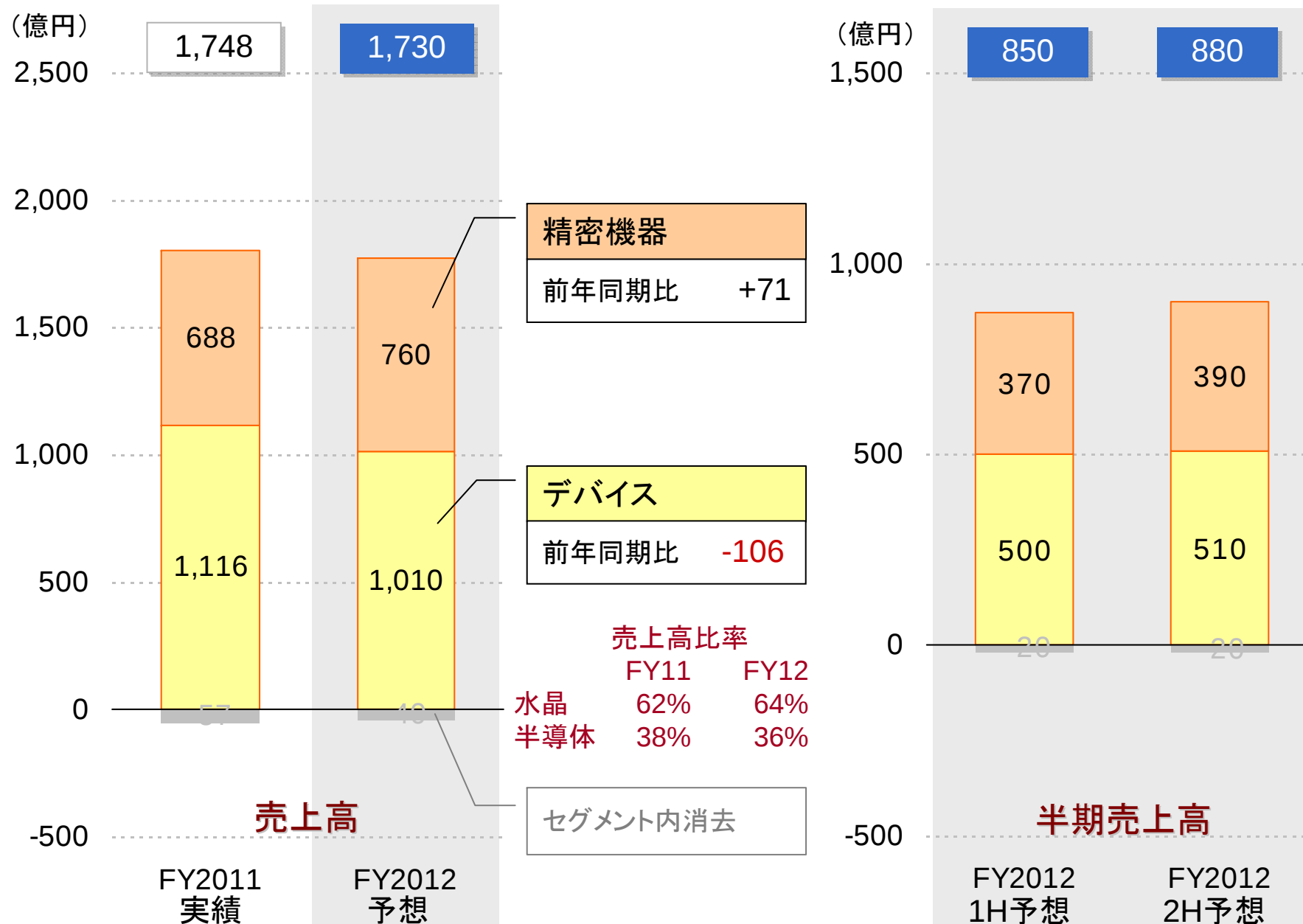
■ マイクロデバイス:

- ✓ 要員構造改革を完遂させ、事業規模を適正化
- ✓ 高付加価値製品への取り組みを加速
- ✓ 変動費、固定費の削減により、確実に利益を回復

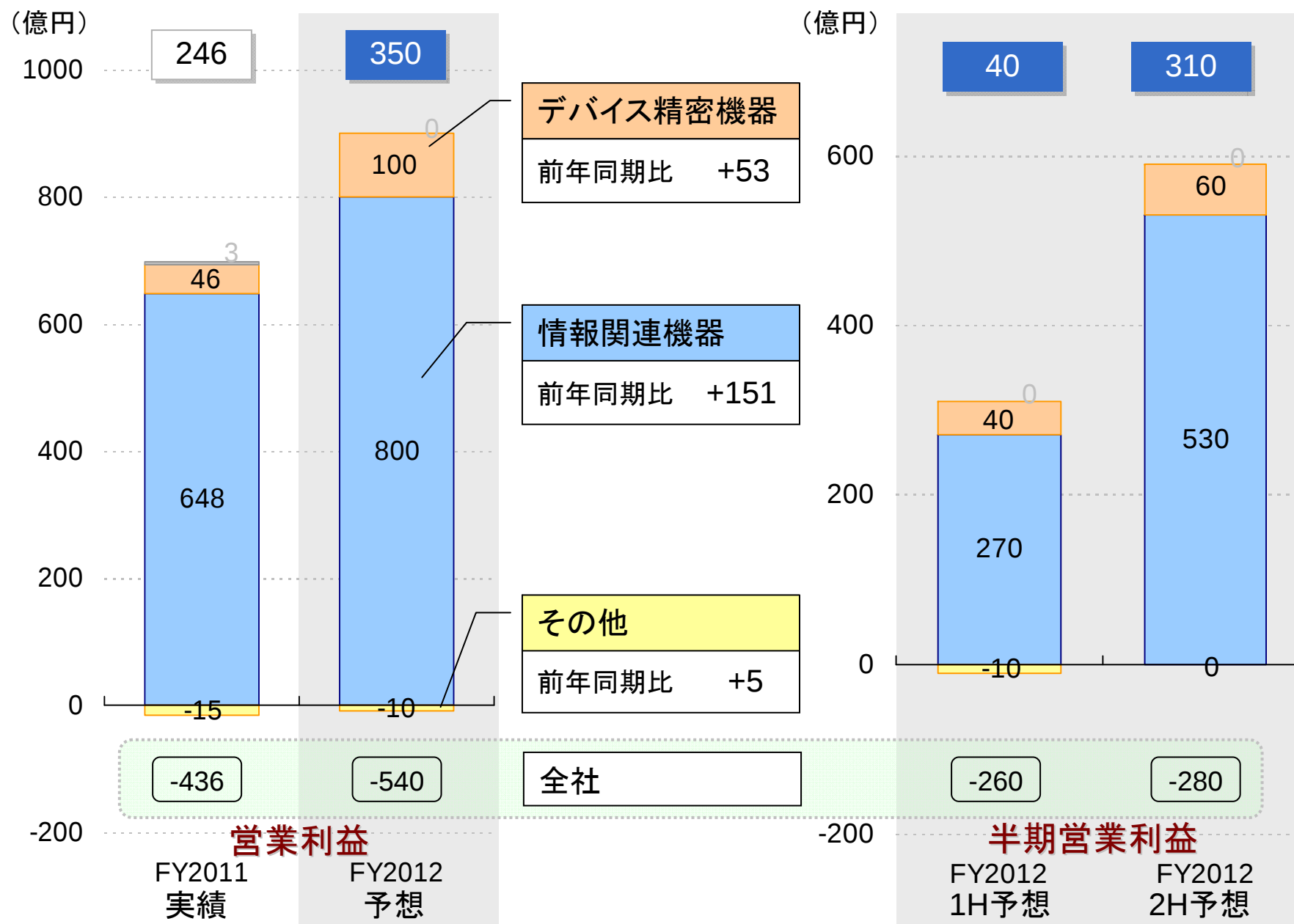
事業別売上高予想 ▶ 情報関連機器セグメント



事業別売上高予想 ▶ デバイス精密機器セグメント



2012年度業績予想(営業利益)▶事業セグメント別



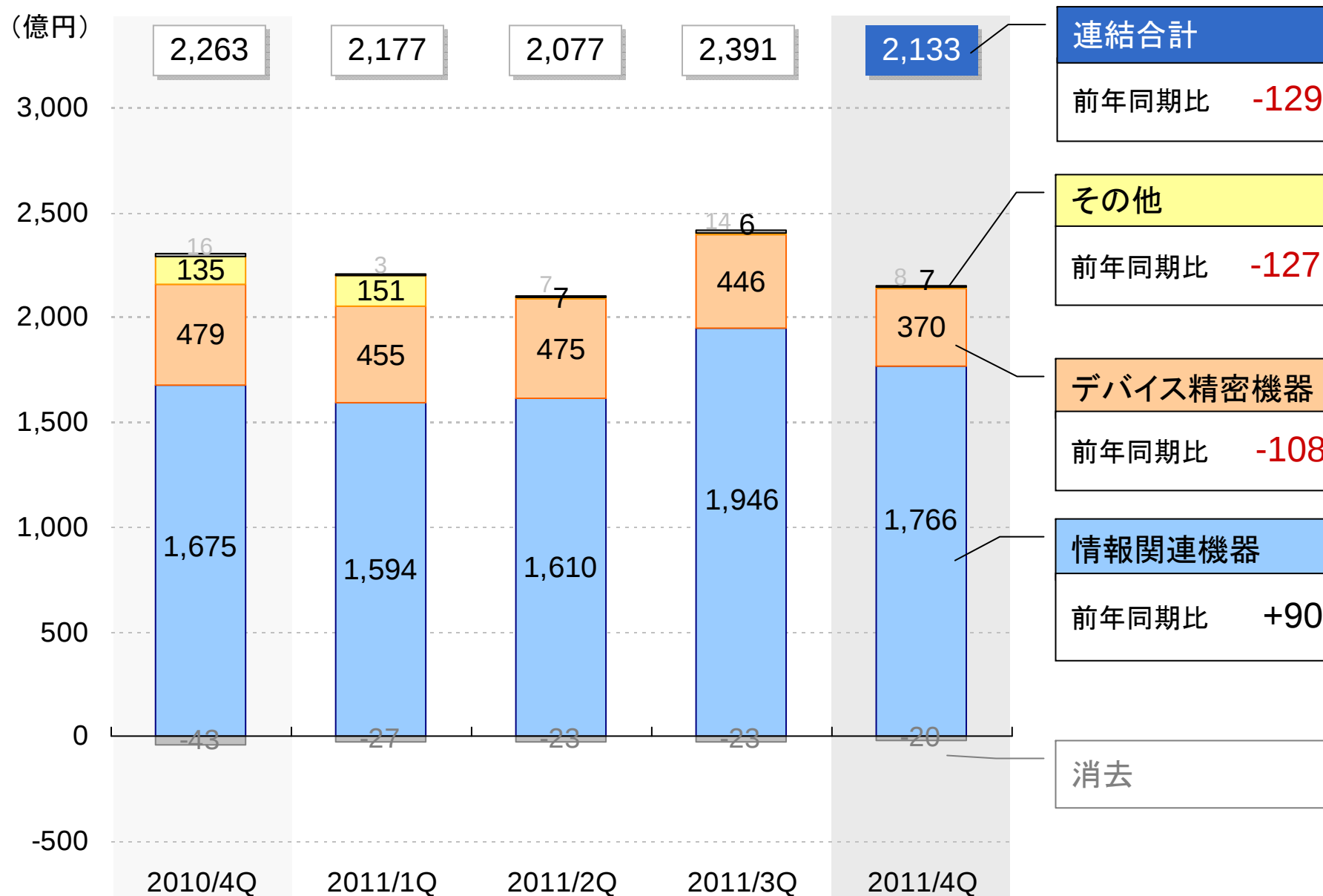
2011年度通期決算
2012年度業績予想

2011年度
第4四半期決算

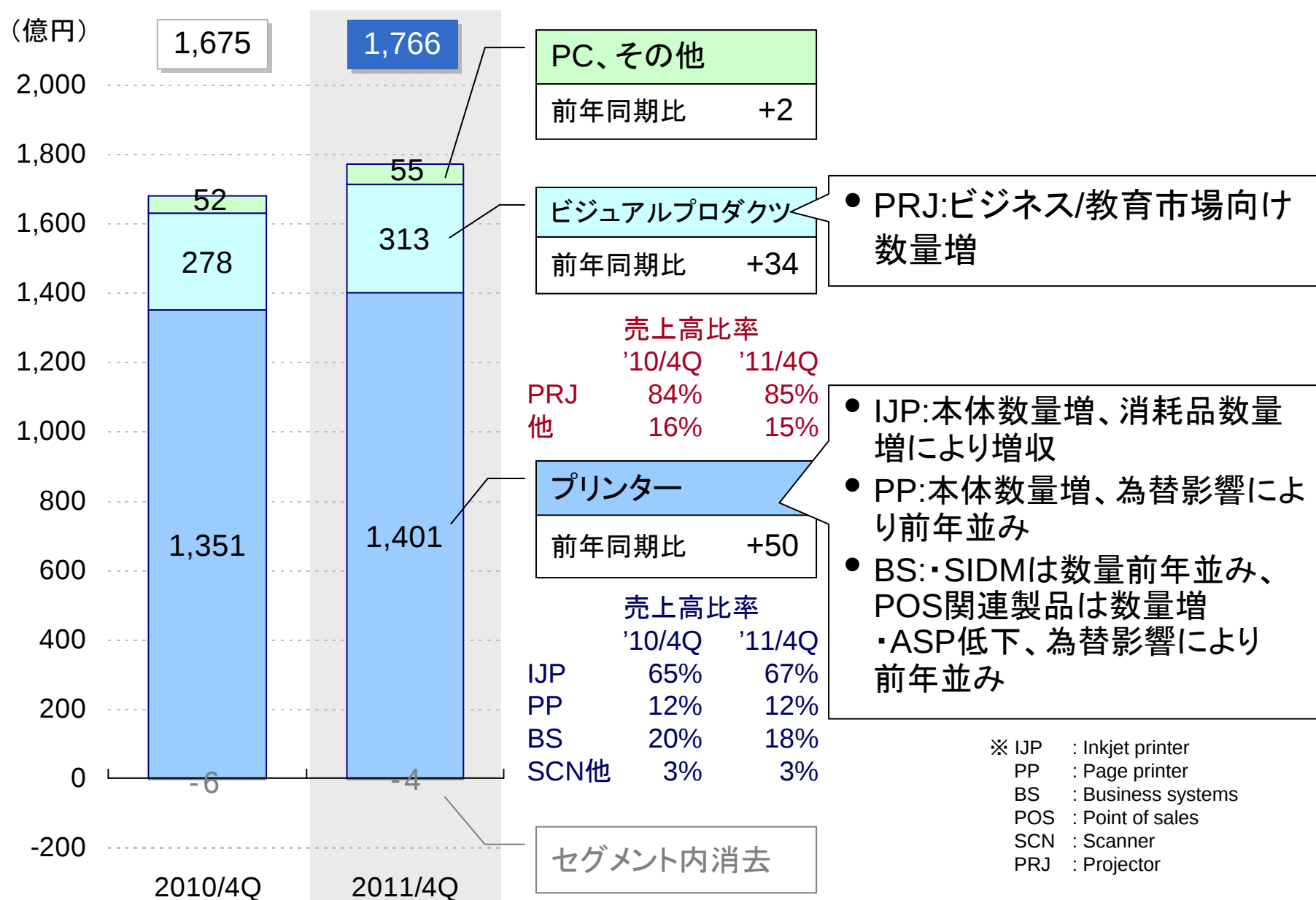
決算ハイライト（第4四半期決算）

(億円)		2010年度		2011年度		増減	
		4Q実績	%	4Q実績	%	増減額	増減率
売上高		2,263	-	2,133	-	-129	-5.7%
営業利益		△11	-0.5%	35	1.7%	+47	-
経常利益		△13	-0.6%	55	2.6%	+69	-
税引前利益		△108	-4.8%	70	3.3%	+178	-
四半期純利益		△67	-3.0%	46	2.2%	+113	-
EPS		△33.86円		25.90円			
換 算 レ ー ト	USD	82.34円		79.28円			
	EUR	112.57円		103.98円			

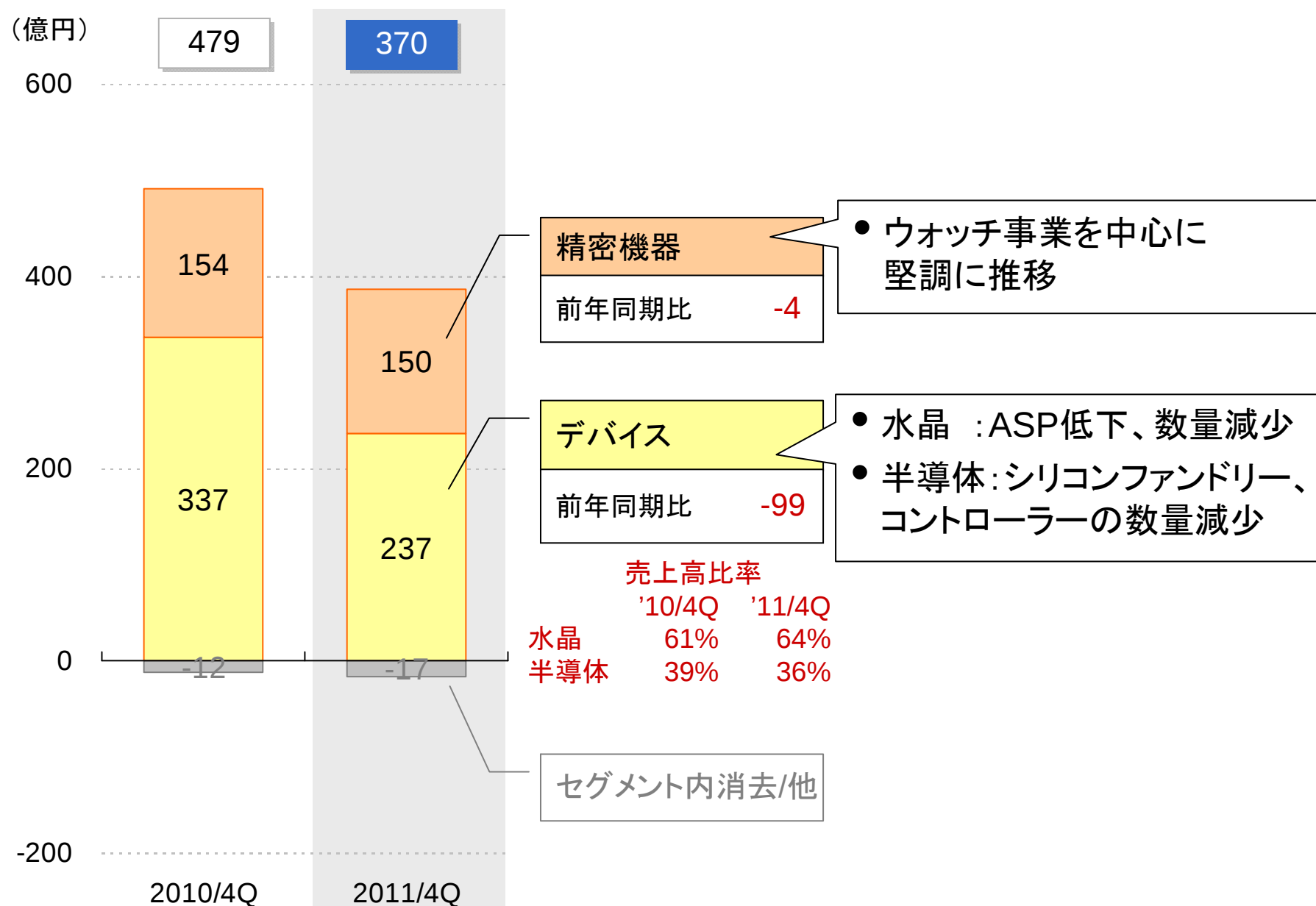
四半期売上高推移 ▶ 事業セグメント別



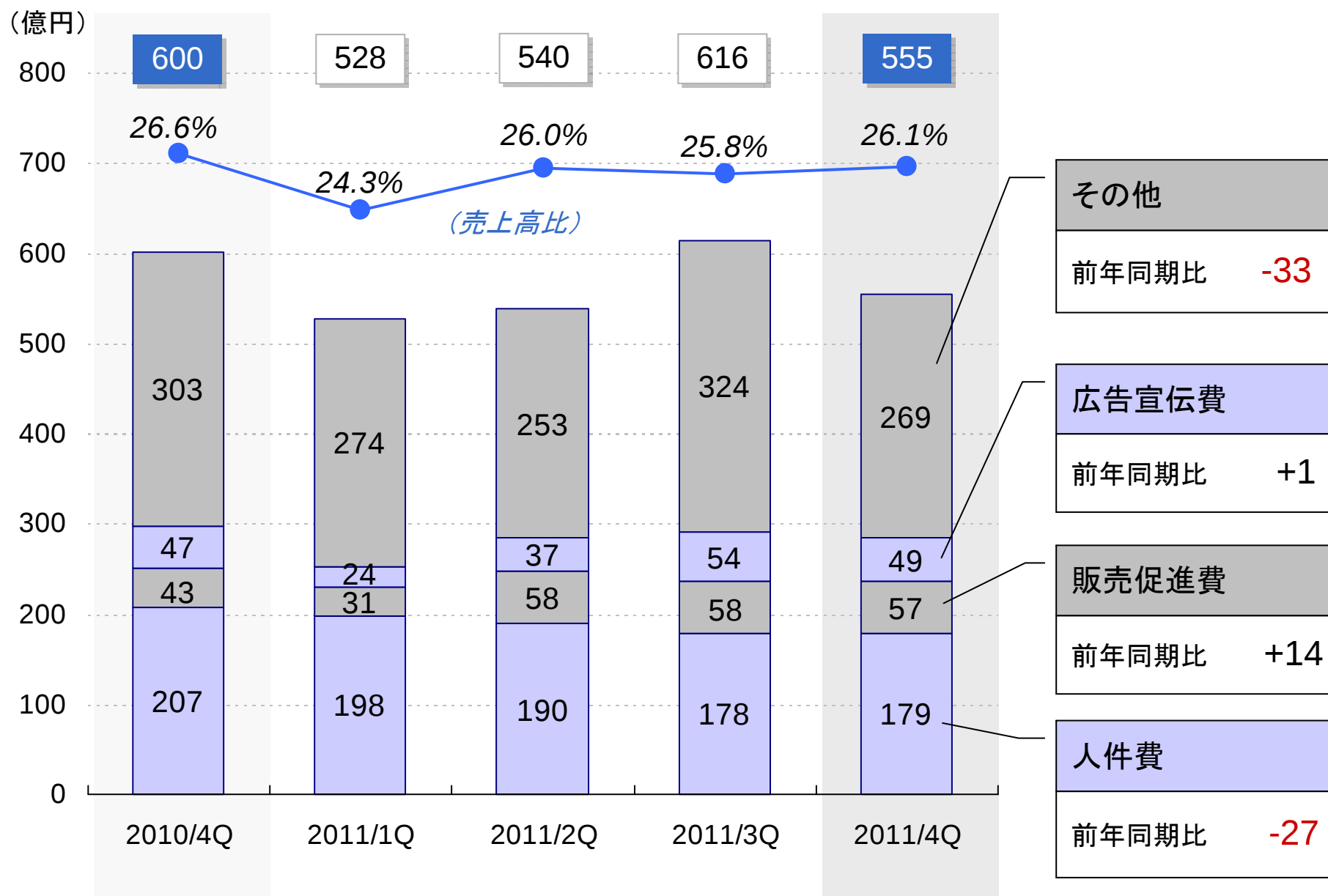
四半期売上高比較 ▶ 情報関連機器セグメント



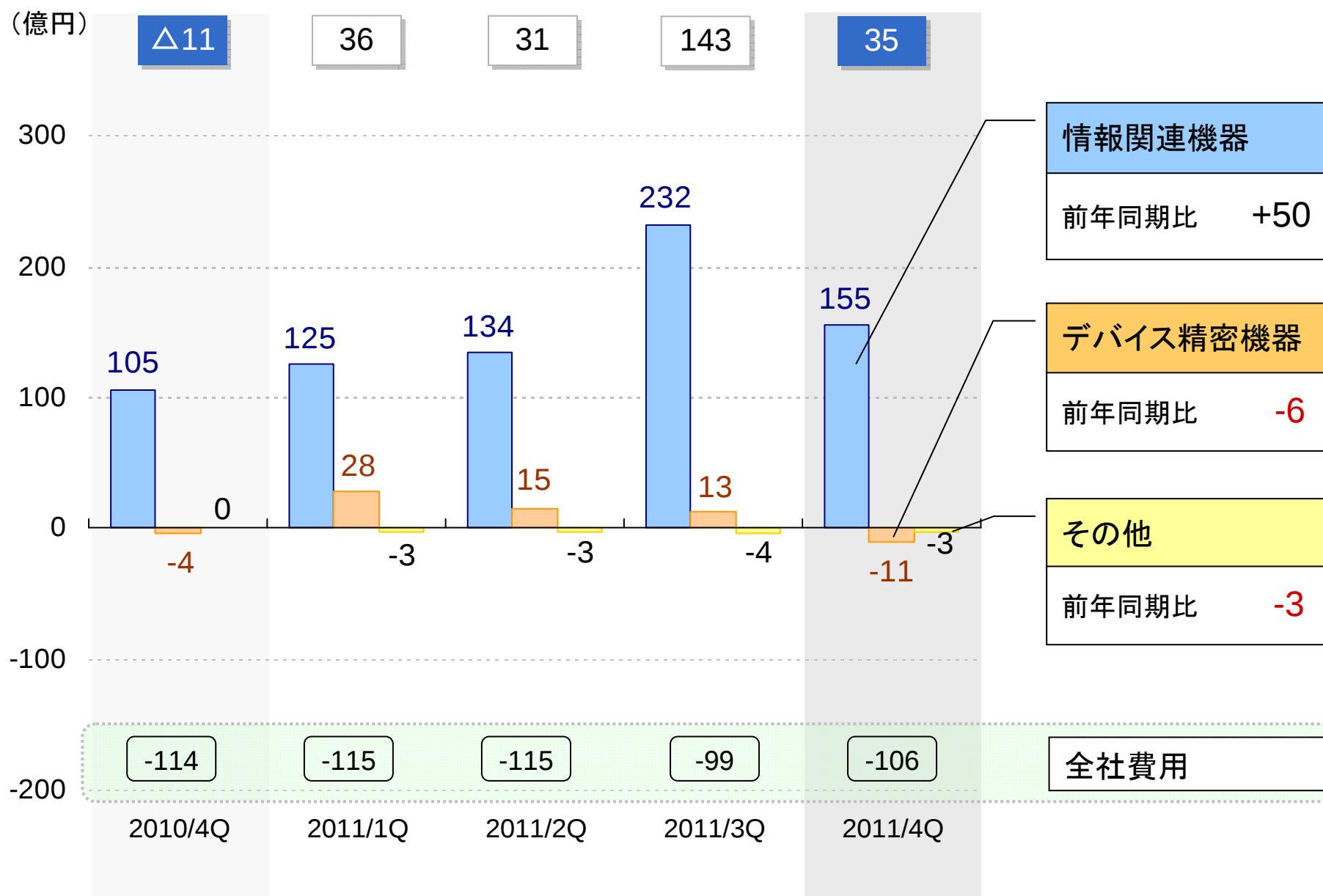
四半期売上高比較 ▶ デバイス精密機器セグメント



四半期販売費及び一般管理費推移

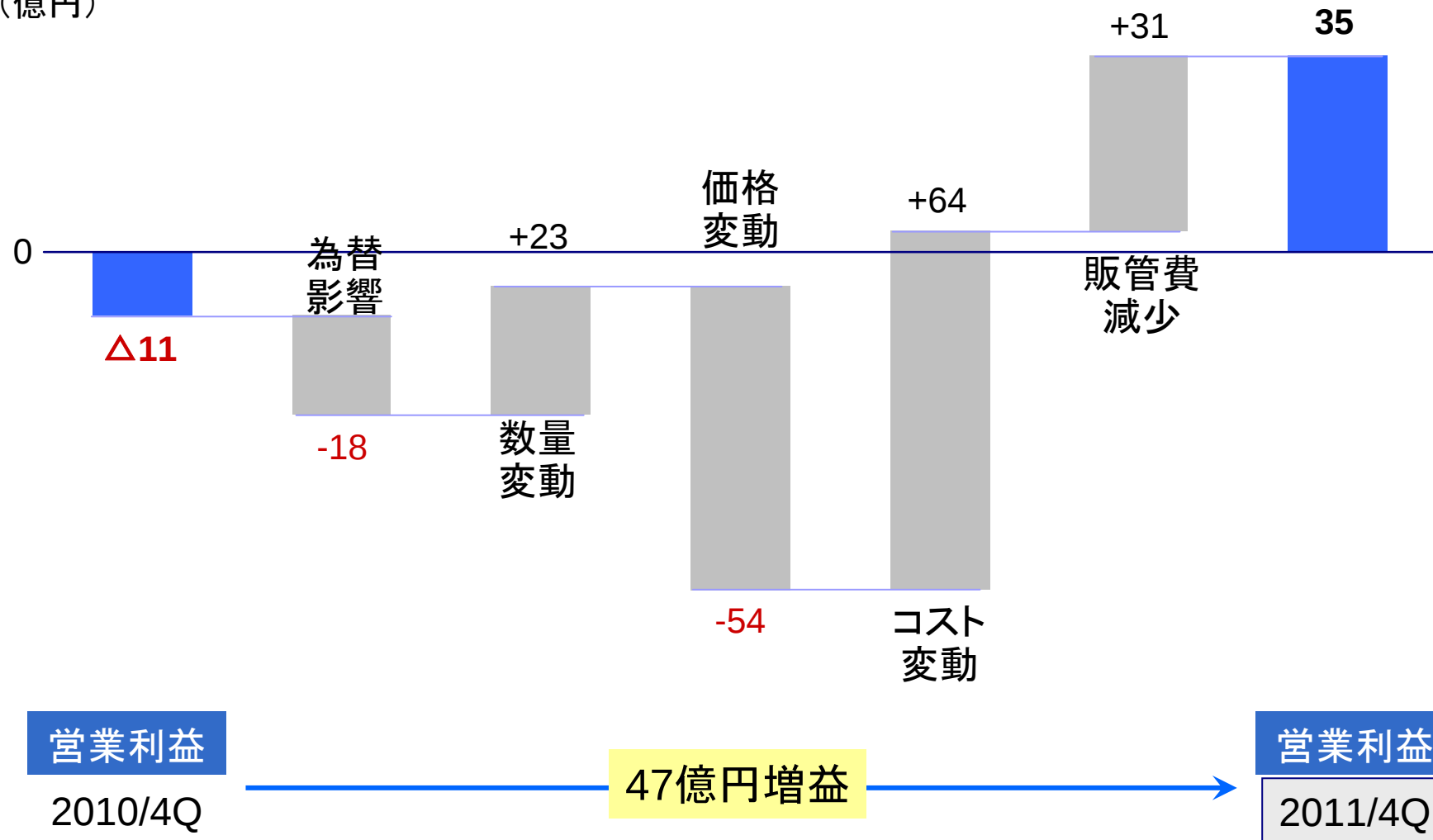


四半期営業利益推移 ▶ 事業セグメント別



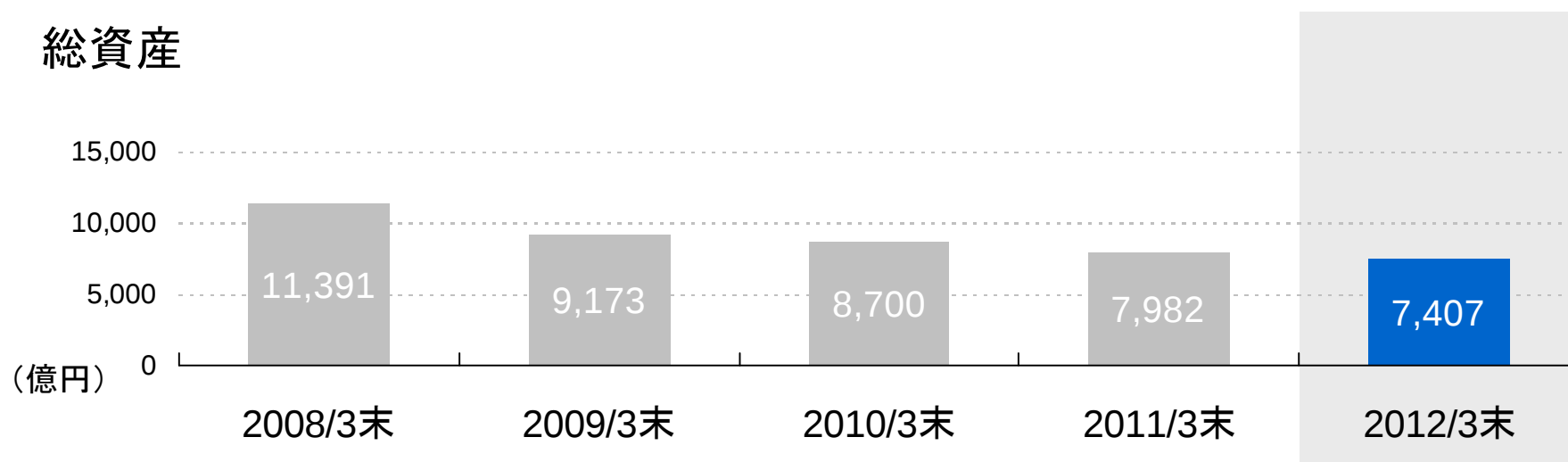
營業利益増減要因分析

(億円)

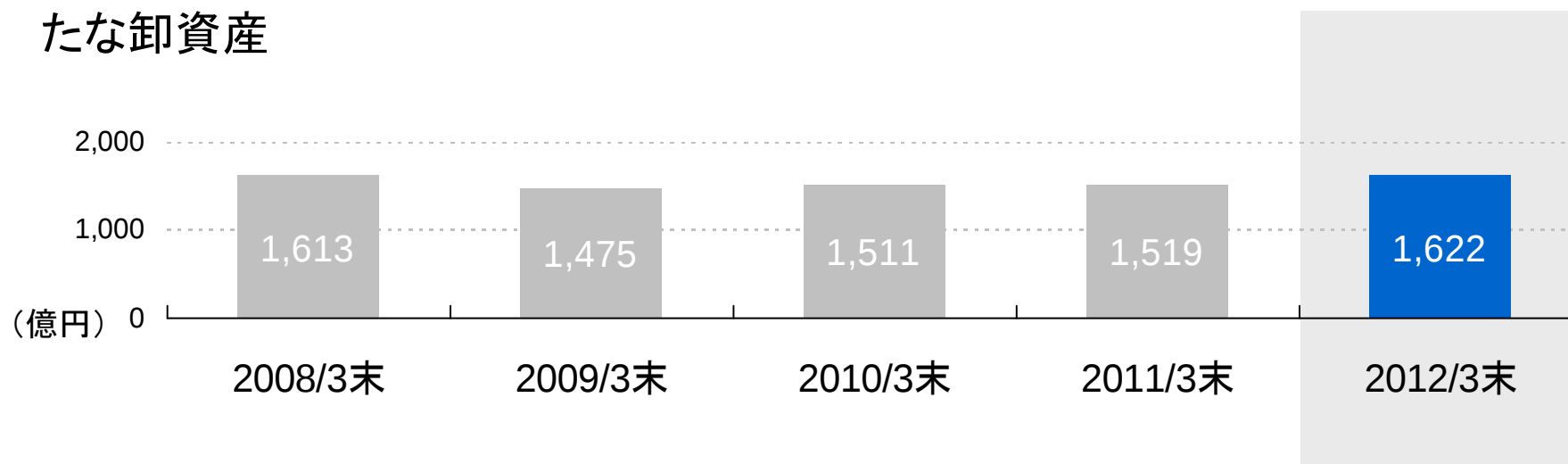


貸借対照表主要項目推移

総資産

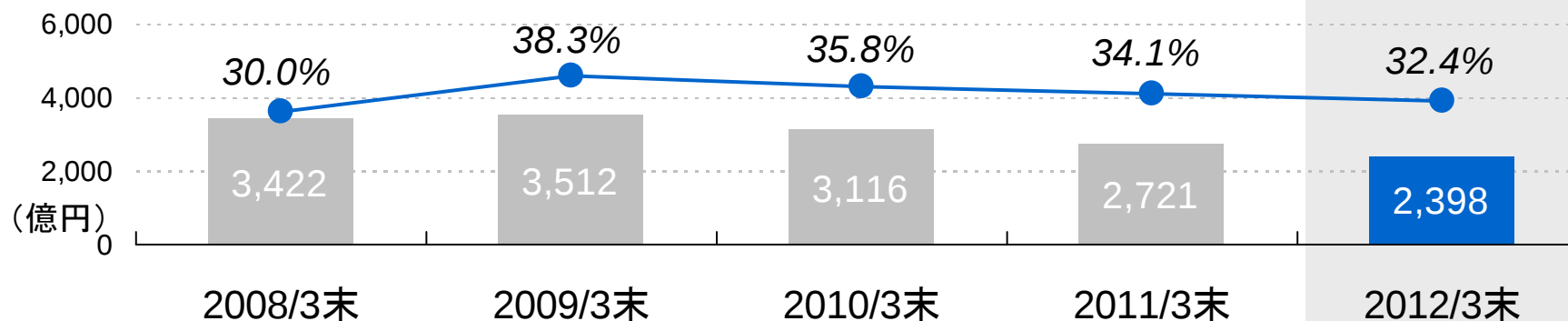


たな卸資産

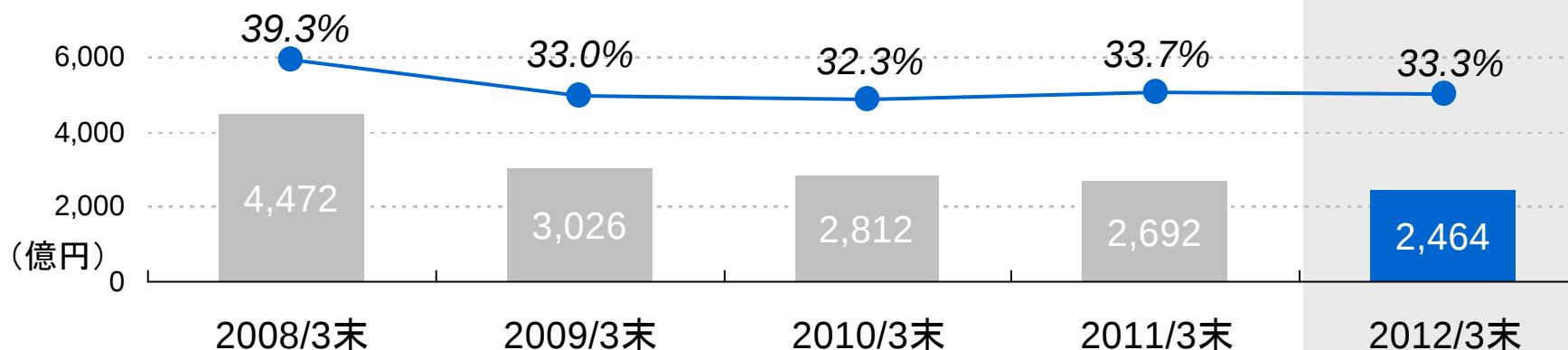


貸借対照表主要項目推移

有利子負債・有利子負債依存度



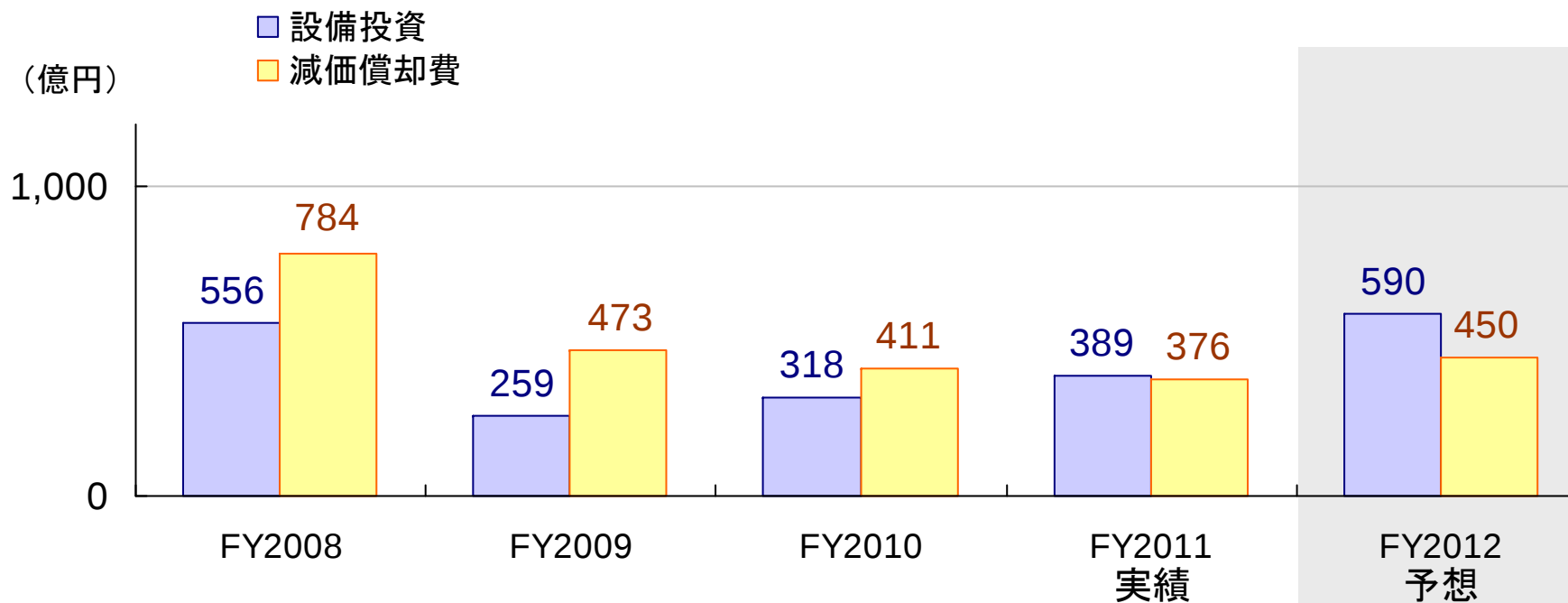
自己資本・自己資本比率



*有利子負債:リース負債を含む

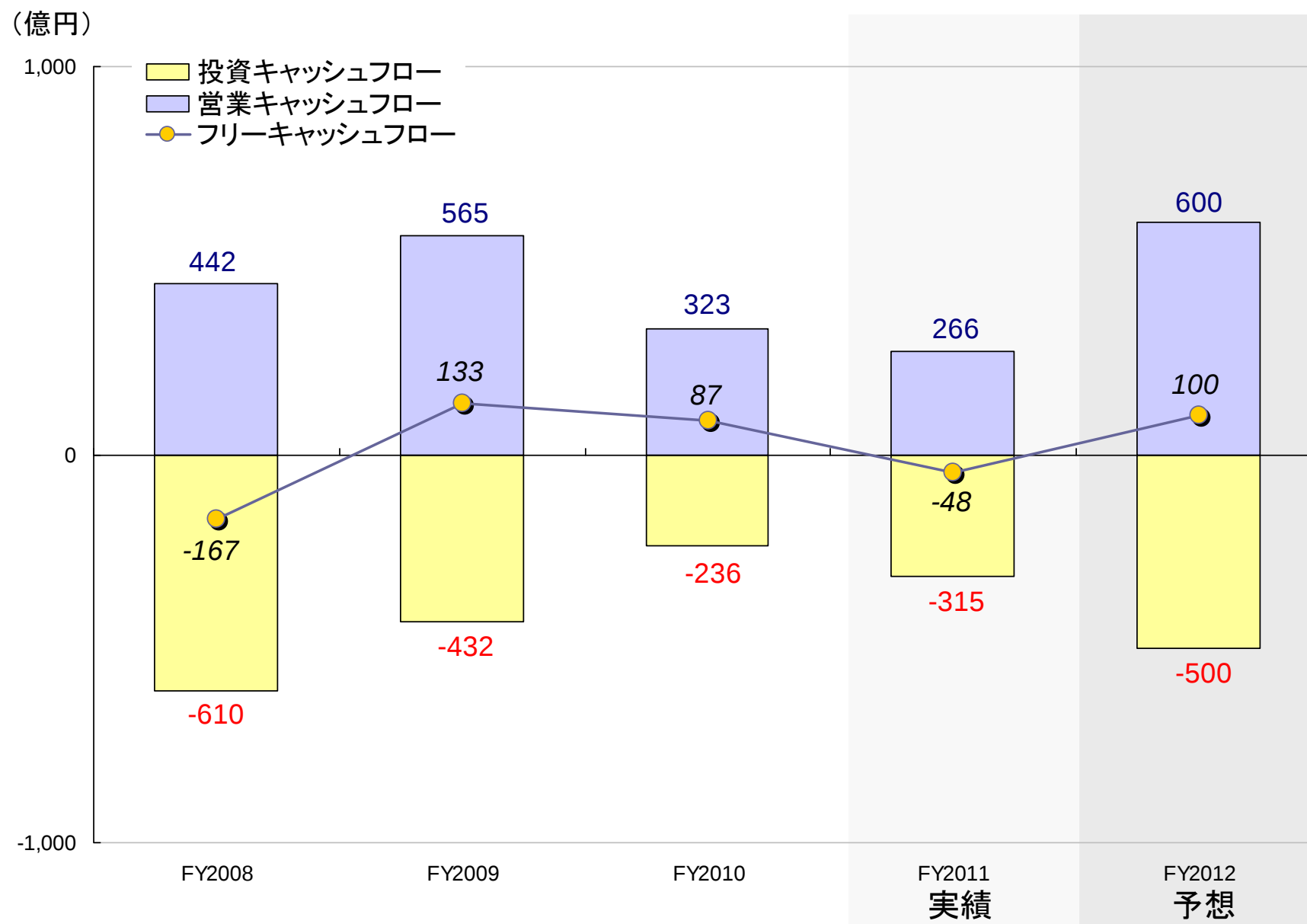
*自己資本:純資産合計-少数株主持分

設備投資・減価償却費予想



<セグメント別内訳>	FY2011実績		FY2012予想	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
情報関連機器	295	227	420	280
デバイス精密機器	68	101	120	120
その他・調整額	25	46	50	50

フリーキャッシュフロー予想



主な経営指標の推移

(%)

